

第 20 回長崎国際医学生奨励賞の授賞式を挙

2018 年 9 月 13 日、カザフスタン共和国のセメイ市にあるセメイ医科大学で、「第 20 回長崎国際医学生奨励賞」の授賞式を挙

長崎国際医学生奨励賞は、長崎大学医学部医学科昭和 53 年度卒業生の御厚意で 1998 年に設立されたもので、以来セメイ医科大学の優秀な医学生を顕彰し、長崎とセメイの懸け橋となっ

今年には Mariya Bekbolatova (マリヤ・ベクボラトワ)さんと Aigerim Kassymkhanova (アイゲリム・カシムカノワ)さんの 2 名の女子医学生が授賞しました。2 名の学生は学業優秀で、セメイ医科大学のイェルシン・ジュヌソフ学長が臨席した授賞式の際には、流暢な英語で御礼と今後の抱負を述べてくれました。

授賞式後には、原爆後障害医療研究所の高村昇教授と折田真紀子助教が「放射線被ばくと健康影響」と「福島第一原子力発電所事故後のリスクコミュニケーション」と題する講義を行いました。

講義には、セメイ医科大学の国際枠の学生約 30 名が参加し、講義後には英語での活発な質疑応答が行われました。長崎大学とセメイ医科大学は 20 年以上にわたる活発な交流を継続しており、今後も教育・研究分野における協力体制が継続する予定です。



Ms. Aigerim Kassymkhanova



Ms. Mariya Bekbolatova